



 長門湯本みらいプロジェクト

## 観光まちづくりマップ

(2019年10月版)

観光まちづくり計画が大きく進んでいる長門湯本温泉。  
新しく完成した川床テラスや、建て替え中のまちのシンボル  
「恩湯（おんとう）」など、温泉街の中心部を流れる川のまわり  
で大規模な工事が行われています。マップを片手に未来の温  
泉街をイメージしながら、ぜひまち歩きをお楽しみください。



cover illustration: romi watanabe

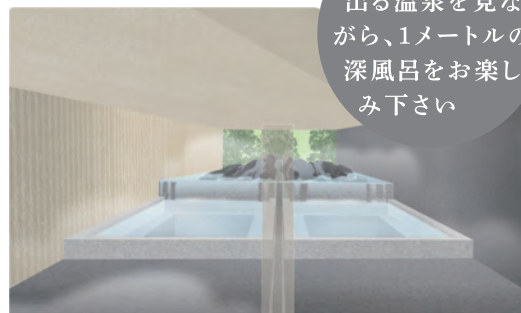


開湯六百年、山口県最古の“神授の湯”  
2020.03. REOPEN

長門湯本温泉は、約600年前、大寧寺の定庵禪師が住吉大明神からのおつげによって発見した“神授の湯”と伝えられる、山口県で最も古い歴史を持つ名湯です。

江戸時代には藩主も度々、湯治に訪れていたとされる由緒ある温泉は、浴室内に住吉大明神の石像を拝し、その「恩湯（おんとう）」の呼称からも、人々の中に尊敬と感謝の心が受け継がれてきた事が伺えました。

岩盤から湧き  
出る温泉を見な  
がら、1メートルの  
深風呂をお楽し  
み下さい



その「恩湯」も施設の老朽化や利用客の減少により、2017年5月に公設公営での営業を終了し、今後は民間事業者の手に委ねられることとなりました。

600年に渡り受け継がれてきた地域の文化資本である大寧寺抱えの「恩湯」を、自分たちで守り次世代に受け継ぐために、その再建を担う事を決意した地域の若手達の手により、新たな恩湯の再建が進められています。

※新しい恩湯は2020年3月オープン予定

長門湯本みらいプロジェクトでは、ホームページやフェイスブックを通じて、まちづくりの情報を随時更新しています。ご興味のある方は、ぜひアクセスしてみてください。



長門湯本みらいプロジェクト  
www.yumoto-mirai.jp





長門湯本みらいプロジェクト  
観光まちづくりマップ  
(2019年10月版)

この地図では、これまでに完成した場所(赤いワク)、これからできる場所(青いワク)を説明しています。  
※2019年10月現在の計画です。  
※予定は変更になる場合があります。

**玉仙閣前の川床** 2018年11月登場

川床(かわどこ)は山口県では、湯本にしかありません。

**大寧寺旧参道** 2020年3月完成予定

**雁木広場と飛び石** 2020年1月完成予定

**カフェ&ポタリイ音** 2017年7月登場

**川沿いの置き座テラス** 2018年11月登場

萩焼とコーヒーのお店。ケーキも人気があります。

**長門湯本温泉駐車場** 2020年1月完成予定

**竹林の階段** 2020年1月完成予定

**恩湯(おんとう)と恩湯飲食棟** 2020年3月開業予定

約600年の歴史がある山口県で一番古い温泉です。

**恩湯前の川床** 2018年11月登場

**ビタパンサンドやぜんざいが美味しいお店です!**

**テイクアウト A.side** 2018年5月オープン

**紅葉の階段** 2018年9月登場

夜の灯りがとても綺麗です。

**ゆずきち棚** 2020年1月完成予定

赤い矢印は、完成したところ。青い矢印は、工中中です。

**まちづくりが進む長門湯本温泉。ひとつのまちが作られていく様子を、是非ご覧ください。**

**雁木広場と飛び石** 2018年5月登場

**星野リゾート 界 長門** 2020年3月開業予定

全国的に有名な「星野リゾート」の建設が進んでいます。

**まちぐるみ湯本提灯** 2017年9月開始

**雁木広場と飛び石** 2018年5月登場

夏には子供達に大人気!

**桜並木のみち** 2020年1月完成予定

これからも、川ぞいや橋の上でいろんなイベントが行われる予定です。

**大谷山荘前の川床** 2018年11月登場

音信川を眺めながら、休憩したり、お茶を飲んだり。

